

建築コース JABEE授業履修ガイダンス 2020

豊橋技術科学大学 建築都市システム学系
建築コース担当：松井智哉

1

国際資格の必要性

- ✓ 外国で建築技術者として活動しようとする場合、一級建築士では、不十分
- ✓ 今後の日本技術者教育認定機構（JABEE）の発展に期待
- ✓ さらには、国際建築士(UIA/国際建築家同盟)の資格との連携に期待

2

建築コースの学習・教育目標（1）共通

- A) 豊かな人間性と幅広い考え方
人文科学 (or相当科目)
[JABEEカードを参照](#)
- B) 技術者としての正しい倫理観と社会性
社会科学 (or相当科目)
「技術者倫理」
- C) 技術を科学的にとらえるための基礎力と
その応用力
数学、図学、自然科学、情報技術関連科目
一般基礎 I (or相当科目)
「応用数学I、II」「基礎力学」「環境物理学」
「建設工学特別講義・演習 I ~IV」

3

建築コースの学習・教育目標（1）共通

- D) 技術を科学する分析力、論理的思考力、
デザイン力、実行力
- D1) 適切な空間把握能力を備え、美観的技術的要請に適切に対応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力
- D2) 建築史や建築論に関する包括的な専門的知識およびこれらの建築修復等への応用能力
- D3) 持続可能な都市計画や都市デザインに関する専門的知識およびこれらの環境保全や景観保全等への応用能力
- D4) 建築法規や積算、建築産業に関わる包括的な専門的知識および社会的役割や社会的責任との関係を理解できる展開能力

4

建築コースの学習・教育目標（1）共通

D) 技術を科学する分析力、論理的思考力、
デザイン力、実行力

D5)建築に必要な構造、材料および施工に関する専門的知識及び建築の実現に向けて、基礎的調査・建築構法から施工までを一貫的に把握できる総合的専門知識

D6)快適な生活環境を提供できる建築環境、建築設備に関する専門的知識

D7)建築分野の専門的知識に加え、社会基盤工学や人文・社会科学の知識を修得し、実際の課題を適切に認識すると同時に、学生、教員相互の協働および討論を通して、制約的条件を特定し、最適解に向けて創造的に企画・立案ができるデザイン能力

D8)建築分野に関する実務上の問題を理解し、社会が要求する制約条件の下で、チームの中で調整・協働し、計画修正を含めて適切に対応できるマネジメント能力

建築コースの学習教育到達目標と2012年基準との対応

表1 学習・教育到達目標と基準1の(1)の(a)～(h)との対応

学習到達目標	基準1の(1)の知識・能力											(e)	(f)	(g)	(h)	(i)	
	(a)	(b)	(c)	(d)													
				1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11			
(A)	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>															
(B)		<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>														
(C)			<input checked="" type="radio"/>														
(D)	[D1]			<input checked="" type="radio"/>		<input checked="" type="radio"/>											
	[D2]				<input checked="" type="radio"/>												
	[D3]					<input checked="" type="radio"/>											
	[D4]						<input checked="" type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>						
	[D5]							<input checked="" type="radio"/>				<input checked="" type="radio"/>					
	[D6]								<input checked="" type="radio"/>								
	[D7]									<input checked="" type="radio"/>							
	[D8]										<input checked="" type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>					
(E)													<input checked="" type="radio"/>				
(F)													<input checked="" type="radio"/>				

建築コースの学習・教育到達目

- 本コースにおいては以下の教科および教科別に実施することを目標とする。

(A) 豊かな聞く力と読む力

自然人間との生き方の上、地理的・経済的情報から多面的に物事を考える能力

(B) 技術としての「新しい」倫理観と社会性

実際的・創意的・技術的行動者としての社会的・倫理的責任を自覚し、技術の課題を解決する能力

(C) 技術を科学的ならざるための基礎概念との両面性

技術に対する考え方に関する基礎的知識と、それを用いる応用能力

(D) 技術を学ぶうる教科・論理思考力、デザイン力、実験力

(E) 適切な空間把握能力と、実践的技術的知識に即応できる建築計画および建築設計・デザインに関する専門的知識とその応用能力

(F) 建築史・建築論に関する包括的な専門的知識およびこれらの建築論述への応用能力

(G) 紹介された建築系の各教科で得られる専門的知識およびこれらを総合化する専門的知識を含む建築全般への応用能力

(H) 建築表現や規範、建築構法に関する専門的知識および社会的・技術的・文化的資源との関係を理解できる開拓能力

(I) 建築に対する構成、材料および施工に関する専門知識及び建築の実践に向けて、基礎的調査・建築構法から施工まで一貫的に把握できる専門的知識

(J) 快適な居住環境を確保できる建築環境、建築構法に関する専門的知識

(K) 建築分野の専門知識に精通し、社会福祉士・社会人アドバイザー・社会的知識を修得し、実践的調査を適切に認証するに従事し、教員相談の結果より評議会提出・複数教科の特長を持つ、最適に適応する専門的・企画力、技量ができるデザイン能力

(L) 建築分野における実習の実施・監修、教員が実習する指導条件での、チームの東で監修・監視し、計画修正を含めて適切に対応する実習指導能力

(M) 國内において実現できる建築と異なるニーベンシアン

國内以外における文化、歴史、口語および植物等メディアを通じて、自分の立場や考え方などを的確に表現し、議論や交換などをリードするコミュニケーション能力

(N) 球技の選手や指導者としての運動競技・特種的運動能力

球技の選手や指導者の運動競技・特種的運動能力

以上(1)～(N)のうち、教科別に実施することを目標とする教科

(A) 地理的背景から多面的に物事を考える能力との知識

(B) 技術が社会や生活に及ぼす影響や影響、および技術者が社会に対して負っている責任に

(C) 数学、物理および技術論に關する知識、それらを活用する能力

(D) 当分野において必要とされる専門知識とそれらを活用する能力

(E) 種々の教科と技術論における知識と情報を利かして社会の要請を解決するためのデザイン能力

(F) 説理的な論述、問題発見、討論等のコミュニケーション能力

(G) 日常的、経済的に日常生活する能力

(H) 与られた制約のもと計画的・仕事の進め、まとめる能力

(I) チームで仕事をするための能力

分野別要件:「建築学および建築論に関連する分野」

(1) 美術と接続する知識に心を込めた建築の設計・計画の能力

(2) 建築の歴史・理論、及び関連する工芸、工学及び人文科学に関する十分な知識

(3) 部屋の設計・計画及びそのプロセスに関する十分な知識

(4) 人間と建築、建築と社会、及び周囲環境との関係の理解、適切なバランスをもたらす能力

(5) 建築設計・計画の機能に対するその公的合理的理解

(6) プロジェクトの基礎的な実験法、構造算定、施工技術、その他関連する技術の理解

(7) 快適で安全な室内環境をもたらすための建築技術、壁間にかかる十分な知識

(8) 開発する産業、予期した問題を調査し、的確な計画及び財務管理する能力

(9) 球技の選手、及び植物等の特徴を理解するための知識に関する十分な知識

(10) 建築構法における包装の問題に対する建築構法に関する専門的能力の構築

(11) 学生・教員双方のための学習、教育、研究方法の研磨

建築コースの学習・教育目標（1）共通

E) 国内外において活用できる表現力とコミュニケーション力

「実務訓練」「建築設計関連」「卒業研究」

F) 最新の技術や社会環境に対する探究心と持続的学習力

「卒業研究」「プロジェクト研究」

学習教育到達目標									
標準(都市システム学科第1年次入学者)									
更新: 2020/03/26									
標準					目標				
区分	必・選の別	授業科目					備考		
		単位数	1年次	2年次	備考	後期	前期	後期	後期
標準	必修	地政法	2.0	1					
		建設実習	1.0	1					
		基礎数学Ⅰ	2.0	1					
		基礎数学Ⅱ	2.0	1					
		基礎物理Ⅰ	2.0	1					
		基礎物理Ⅱ	2.0	1					
		地盤工学概論	1.0	1					
		建設実習実地研修	2.0	1					
		建設実習見習	2.0	2					
		建設実習見習Ⅱ	2.0	1					
選択	選択	建設実習Ⅰ実習	2.0	1	1.5				
		建設実習Ⅱ実習	1.0	1	1.5				
		プロジェクト実習	2.0	1					
		建設実習Ⅲ実習	1.0	1					
		建設実習Ⅳ実習	2.0	1					
		建設実習Ⅴ実習	1.0	1					
		建設実習Ⅵ実習	2.0	1					
		建設実習Ⅶ実習	1.0	1					
		建設実習Ⅷ実習	2.0	1					
		建設実習Ⅸ実習	1.0	1					
標準(都市システム学科第1年次入学者)					目標				
区分	必・選の別	授業科目					備考		
		単位数	3年次	4年次	備考	後期	前期	後期	後期
標準	必修	建設法	0.5	1					
		地政法	2.0	1					
		建設実習	1.5	1					
		建設実習Ⅰ	2.0	1					
		建設実習Ⅱ	1.5	1					
		地盤工学Ⅰ	1.5	1					
		地盤工学Ⅱ	1.5	1					
		建設実習Ⅲ実習	4.0	5	施工実習				
		建設実習Ⅳ実習	6.0	18					
		建設実習Ⅴ実習	1.0	1					
標準	必修	建設法	1.0	1.5					
		建設実習Ⅵ実習	2.0	1					
		建設実習Ⅶ実習	1.0	1.5					
		建設実習Ⅷ実習	2.0	1					
		建設実習Ⅸ実習	2.0	1					
		建設実習Ⅹ実習	2.0	1					
		建設実習Ⅺ実習	2.0	1					
		建設実習Ⅻ実習	2.0	1					
		建設実習Ⅼ実習	2.0	1					
		建設実習Ⅽ実習	2.0	1					
標準(都市システム学科第1年次入学者)					目標				
区分	必・選の別	授業科目					備考		
		単位数	1年次	2年次	備考	後期	前期	後期	後期
標準	必修	建設法	0.5	1					
		地政法	2.0	1					
		建設実習	1.5	1					
		建設実習Ⅰ	2.0	1					
		建設実習Ⅱ	1.5	1					
		地盤工学Ⅰ	1.5	1					
		地盤工学Ⅱ	1.5	1					
		建設実習Ⅲ実習	4.0	5	施工実習				
		建設実習Ⅳ実習	6.0	18					
		建設実習Ⅴ実習	1.0	1.5					
標準(都市システム学科第1年次入学者)					目標				
区分	必・選の別	授業科目					備考		
		単位数	3年次	4年次	備考	後期	前期	後期	後期
標準	必修	建設法	0.5	1					
		地政法	2.0	1					
		建設実習	1.5	1					
		建設実習Ⅰ	2.0	1					
		建設実習Ⅱ	1.5	1					
		地盤工学Ⅰ	1.5	1					
		地盤工学Ⅱ	1.5	1					
		建設実習Ⅲ実習	4.0	5	施工実習				
		建設実習Ⅳ実習	6.0	18					
		建設実習Ⅴ実習	1.0	1.5					
標準(都市システム学科第1年次入学者)					目標				
区分	必・選の別	授業科目					備考		
		単位数	1年次	2年次	備考	後期	前期	後期	後期
標準	必修	建設法	0.5	1					
		地政法	2.0	1					
		建設実習	1.5	1					
		建設実習Ⅰ	2.0	1					
		建設実習Ⅱ	1.5	1					
		地盤工学Ⅰ	1.5	1					
		地盤工学Ⅱ	1.5	1					
		建設実習Ⅲ実習	4.0	5	施工実習				
		建設実習Ⅳ実習	6.0	18					
		建設実習Ⅴ実習	1.0	1.5					
標準(都市システム学科第1年次入学者)					目標				
区分	必・選の別	授業科目					備考		
		単位数	3年次	4年次	備考	後期	前期	後期	後期
標準	必修	建設法	0.5	1					
		地政法	2.0	1					
		建設実習	1.5	1					
		建設実習Ⅰ	2.0	1					
		建設実習Ⅱ	1.5	1					
		地盤工学Ⅰ	1.5	1					
		地盤工学Ⅱ	1.5	1					
		建設実習Ⅲ実習	4.0	5	施工実習				
		建設実習Ⅳ実習	6.0	18					
		建設実習Ⅴ実習	1.0	1.5					
標準(都市システム学科第1年次入学者)					目標				
区分	必・選の別	授業科目					備考		
		単位数	1年次	2年次	備考	後期	前期	後期	後期
標準	必修	建設法	0.5	1					
		地政法	2.0	1					
		建設実習	1.5	1					
		建設実習Ⅰ	2.0	1					
		建設実習Ⅱ	1.5	1					
		地盤工学Ⅰ	1.5	1					
		地盤工学Ⅱ	1.5	1					
		建設実習Ⅲ実習	4.0	5	施工実習				
		建設実習Ⅳ実習	6.0	18					
		建設実習Ⅴ実習	1.0	1.5					
標準(都市システム学科第1年次入学者)					目標				
区分	必・選の別	授業科目					備考		
		単位数	3年次	4年次	備考	後期	前期	後期	後期
標準	必修	建設法	0.5	1					
		地政法	2.0	1					
		建設実習	1.5	1					
		建設実習Ⅰ	2.0	1					
		建設実習Ⅱ	1.5	1					
		地盤工学Ⅰ	1.5	1					
		地盤工学Ⅱ	1.5	1					
		建設実習Ⅲ実習	4.0	5	施工実習				
		建設実習Ⅳ実習	6.0	18					
		建設実習Ⅴ実習	1.0	1.5					
標準(都市システム学科第1年次入学者)					目標				
区分	必・選の別	授業科目					備考		
		単位数	1年次	2年次	備考	後期	前期	後期	後期
標準	必修	建設法	0.5	1					
		地政法	2.0	1					
		建設実習	1.5	1					
		建設実習Ⅰ	2.0	1					
		建設実習Ⅱ	1.5	1					
		地盤工学Ⅰ	1.5	1					
		地盤工学Ⅱ	1.5	1					
		建設実習Ⅲ実習	4.0	5	施工実習				
		建設実習Ⅳ実習	6.0	18					
		建設実習Ⅴ実習	1.0	1.5					
標準(都市システム学科第1年次入学者)					目標				
区分	必・選の別	授業科目					備考		
		単位数	3年次	4年次	備考	後期	前期	後期	後期
標準	必修	建設法	0.5	1					
		地政法	2.0	1					
		建設実習	1.5	1					
		建設実習Ⅰ	2.0	1					
		建設実習Ⅱ	1.5	1					
		地盤工学Ⅰ	1.5	1					
		地盤工学Ⅱ	1.5	1					
		建設実習Ⅲ実習	4.0	5	施工実習				
		建設実習Ⅳ実習	6.0	18					
		建設実習Ⅴ実習	1.0	1.5					
標準(都市システム学科第1年次入学者)					目標				
区分	必・選の別	授業科目					備考		
		単位数	1年次	2年次	備考	後期	前期	後期	後期
標準	必修	建設法	0.5	1					
		地政法	2.0	1					
		建設実習	1.5	1					
		建設実習Ⅰ	2.0	1					
		建設実習Ⅱ	1.5	1					

2012年基準対応、学習教育到達目標の達成度評価基準

■学習・教育到達目標評価基準												
	学習・教育到達目標											
	A人文性と考え方	B倫理観と社会性	C技術を科学的に捉える	D1建築設計・デザイン能力・スケール感	D2建築史・建築論と応用	D3都市計画・都市デザインと応用	D4法規・規範・建築産業と社会的責任	D5構造・材料・施工と建設行為の総合的知識	D6建築環境・建築設備	D7創造的企画・立案・デザイン能力	D8チームワーク・マネジメント能力	E表現力
評価基準 (必要最低基準)												
評価基準 (必要最低基準)	技術者倫理(必要)を取得 人文科学関連科目2科目以上取得 社会科学研究科 科目2科目以上取得	技術者倫理(必要)を取得 生命科学、理系の人文科学 環境科学、応用科学、建築 計画認定基礎を取得すること	3単位を取得 建築分野以外からの人文科学 環境科学、応用科学、建築 計画認定基礎を取得すること	2単位を取得 2単位を取得	2単位を取得 2単位を取得	建設法規を取得すること	3.5単位を取得 卒業研究、プロジェクト研究 実務訓練を取得すること	4単位を取得 卒業研究、プロジェクト研究 実務訓練を取得すること	卒業研究、プロジェクト研究 実務訓練を取得すること	卒業研究、英語または日本語(GAOP学生)を2科目以上取得すること 国語表現規範(1)、日本文化、 技術科学日本語、日本語上級問題(建築の解釈の中心から科目 以上を取得すること)	卒業研究、建設工学科別専門を取 得すること	
推薦基準Ⅰ (二級建築士受験資格相当)	同上	同上	同上	5単位を取得 2単位を取得	2単位を取得 2単位を取得	2単位を取得 2単位を取得	建設法規を取得すること	8単位を取得 4単位を取得	4単位を取得 卒業研究、プロジェクト研究 実務訓練を取得すること	同上	同上	同上
推薦基準Ⅱ (一級建築士受験資格相当)	同上	同上	同上 構造力学IVを取得する	7単位を取得 ※ただし、D1計画、D2、D3と8単位を取得す ること。	2単位を取得 ※	2単位を取得 ※	建設法規を取 得すること	11単位を取得 4単位を取得	4単位を取得 卒業研究、プロジェクト研究 実務訓練及び 建築設計製圖 V又はVIを取 得すること	同上	同上	同上

■高専科目の読み替え方針
上記の学習到達目標区分に従って読み替えるが、学部1~2年で開講している科目に準拠して行う。つまり、D2、D3、D5(生産)については、学部1~2年で開講科目がない為、読み替え対象としない。

学習教育到達目標評価基準は、**評価基準**（必要最低基準）、**推薦基準Ⅰ**（二級建築士受験資格相当）、**推薦基準Ⅱ**（一級建築士受験資格相当）の三段階で定めています。

推薦基準ⅡやⅠを満たすように学習に取り組みましょう

今後の予定

□ 3年後期開始までに、個別面談を行う予定

■ 学生ごとに高専4,5年次（相当）での修得状況を確認

- 取得単位数 (65単位>? or 65単位<?)
- 人文系科目、社会科学系科目の修得科目数
- 数学・自然科学に関する修得科目数
- 主要分野に関する取得単位数
(JABEE認定科目は建築土指定科目とは異なる)

■ JABEEカルテの作成

- 3年前期までの達成度評価
- 今後の学習計画の作成

◆担当する教員から指示があるので、D棟7階の掲示板等をこまめに確認すること。
(7月頃に、JABEEカルテ入力に関する説明会を予定)